

大阪長屋を現代化したコロナ後の「新しい大阪の住宅」全48タイプの展覧会を11月13日から昭和町の登録有形文化財寺西家住宅で開催します

新・大阪長屋展2020

[期間] 11月13日(金)・14日(土)・15日(日)・20日(金)・21日(土)・22日(日)・23日(祝)
[時間] 11:00~18:00 [お問い合わせ] 06-6578-8201:高橋
[会場] 寺西家住宅:大阪市阿倍野区阪南町1-50-25 [料金] 入場無料



コロナ禍により、これからの住宅に求められていることが明確になりました。風通しと日あたりが良く、広いリビング(居間)と広いバルコニーと庭があって緑を感じられる住宅、つまり、住宅の中に本質的に「自然」を取り込むことが求められるようになりました。これらの条件を満たした、新しい大阪の定番住宅のお手本となるのは、大阪の住まいの歴史の中で生まれ、大阪独自の進化も遂げた、大阪の都市型住宅の原型である「大阪長屋」です。大阪長屋を令和時代に現代化して、大阪ならではの住宅問題を解決した、コロナ後の新しい定番住宅=新・大阪長屋を全48タイプ公開するのが本展覧会の目的です。

大阪長屋の[全3タイプ]

明治時代 大正時代 昭和時代	明治時代	通り庭型	大正時代前半	裏庭型	大正時代後半	裏庭+表庭型
		明治時代は、通り庭型が建てられていました。玄関から裏庭まで通り庭があり、敷地奥側に裏庭があります。通り庭は、玄関から裏庭までの土間の半外部空間で、炊事場であり、人の出入りや、物入れの搬入などのために、欠かせない空間でした。		大正時代になると、前面道路側が玄関と炊事場で構成された型が現れます。玄関と炊事場は、土間になっています。裏庭は、敷地奥側に設けられています。下水が、明治時代につくられていた通り庭型の通り庭をつくる必要がなくなり、この型ができました。		大正時代後半になると、敷地奥側の裏庭に加えて、前面道路側に塀で囲んだ表庭が設けられた型が現れます。この大阪特有の長屋ができて、大阪長屋は格段に進化しました。この型が、現代の大阪の都市住宅として現代化するのに、最もふさわしい型です。

< 令和時代に現代化します >

新・大阪長屋の[全48タイプ]

令和時代	I 間口の狭い敷地	大阪の狭小間口の敷地に最も多い2間間口の、全タイプの3LDK住宅を公開します				「大阪の狭小間口の敷地の住宅で、住んでみたい住宅がない」という問題を解決するために、間口2間の全タイプを製作しました。
	間口2間 × 奥行6間	間口2間 × 奥行7間	間口2間 × 奥行8間	間口2間 × 奥行9間	28坪	下表のように、間口2間×奥行6間・7間・8間・9間の2.4タイプの住宅と、間口2.25間×奥行6間の4タイプの可変型店舗付住宅の、全28タイプを公開します。
	17坪	20坪	23坪	25坪		1 最小型の間口2間×奥行6間は全6タイプの模型と図面を公開 大阪の狭小間口の敷地に最も多い2間間口のプランの「定番」がないため、多くの方のご要望を受けて、2間間口のシリーズを製作しました。間口2間×奥行6間の3LDK住宅が最も条件が厳しく、このプランを必要とする大阪人は多いので、全方位の敷地に対応した、全6タイプの模型と図面を展示し、詳細に見て頂けるようにしました。
						2 間口2間×奥行7間・8間・9間は、各サイズの代表的な住宅の模型と、模型台の上の、本のように開いて図面を見られる形式の展示で、全18プランを公開します。
						3 すべての2間間口のプランは、大阪長屋の独自の型である「裏庭+表庭型」を現代化して製作しています。
						4 大阪長屋は全て「北向き敷地のプラン」で、南・東・西向き敷地でも北向き敷地のプランが採用されていますが、新・大阪長屋では北・南・東・西向き、全方位の敷地のプランを製作しています。
						注 大阪市内の1戸建住宅の平均敷地面積は26坪未満の2間間口の住宅を、全タイプ製作しています。
	II 一般的な敷地	16~50坪の一般的な形状の敷地の全20タイプの住宅を公開します				「大阪の小さな敷地の住宅で、住んでみたい住宅がない」という問題を解決するために、特に小さな敷地のプランは、絶対に検討を重ねて製作しました。
	最小型	中型	大型	進化形の中型	未来型	一般的な敷地のプランは、大阪長屋の全3タイプを現代化して製作しています
	16坪	28坪	40坪	34坪	48坪	一般的な形状の敷地16・18・20・22・24坪の新・大阪長屋 大阪長屋型 明治時代「通り庭型」・大正時代後半「裏庭+表庭型」
	18坪					最小型 各時代の3タイプを現代化して製作しています。敷地面積16~24坪の敷地の都市型住宅を、新・大阪長屋の「小さな家」に仕上げ、比較的小さいながらも、大阪の都市部で自然を感じながら暮らす、小さくても豪華な条件を兼ね備えた新しい大阪の都市型住宅を公開します。
	20坪					一般的な形状の敷地26坪の新・大阪長屋 大阪長屋型 大正時代後半「裏庭+表庭型」
	22坪					小型 大阪市内の1戸建住宅の平均敷地面積は26.8坪で、最も近い敷地面積とするための、この3種の住宅を、新・大阪長屋の「標準型」として、敷地面積26坪の同一敷地で、3階建て住宅(1階・2階・3階にLDK(居間・食室・浴室)のある3タイプを、すべて公開します。
	24坪					中型 一般的な形状の敷地28・30・32坪の新・大阪長屋 大阪長屋型 大正時代後半「裏庭+表庭型」
						進化形の中型 大阪長屋型 明治時代「通り庭型」
						大型 一般的な形状の敷地34・36・38坪の新・大阪長屋 大阪長屋型 明治時代「通り庭型」
						未来型 各時代の3つの型から、新しい第4の型「未来型」をつくりました。大阪長屋の中に、明治時代・大正時代・昭和時代を通して、歴史的につくられてきたすべての面を重畳させてきた、新しい3タイプの「新・大阪長屋の未来型」を公開します。

1 大阪長屋を現代化した新しい大阪の都市型住宅	2 大阪市内で「大きな自然を感じられる住宅」	3 大阪の間口の狭い敷地に「住んでみたい住宅」をつくる
現在、大阪ではハウスメーカーが全国統一モデルとして開発した住宅商品が数多く建てられていますが、大阪の住まいの歴史や風土は、反映されていません。新しい大阪の都市型住宅は、大阪の住まいの歴史全体を理解し、「温故知新」で大阪の都市型住宅の原型の空間構成をきちんと受け継いでつくり上げていくべきだと考えています。	コロナ禍で、都会に近い田舎に住む動きもありますが、都心回帰の動きも出てきています。その両方をかなえる方法の一つが、都会の住宅の中に「大きな自然を感じられる庭を設ける」ことです。そうすることで都会の豊かさ・利便性を享受するとともに住宅の中で自然も感じられて、最も良い方法なのではないかと考えています。	大阪の狭小間口の敷地の住宅で住んでみたい住宅がないという問題を解決しました。大阪には狭小間口の敷地が多いにもかかわらず、住んでみたい住宅がありませんでした。そこで、大阪で最も多い2間間口の住宅2.4タイプと、2.25間間口の可変型店舗付住宅4タイプの、全28タイプの、大阪の新定番住宅を公開します。
4 大阪の小さな敷地にも「豪邸」をつくる ※一般的な敷地	5 大きくて分かりやすい模型と図面を展示しています	6 会場の寺西家住宅の正面には、寺西家阿倍野長屋があります
大阪の小さな敷地の住宅で、住んでみたい住宅がないという問題を解決しました。大阪には小さな敷地が多いにもかかわらず住んでみたい住宅がありませんでした。大阪市内の1戸建住宅平均敷地面積は26坪と、26~50坪の敷地の住宅「小さな豪邸」と、26~50坪の敷地の住宅「小さな豪邸」敷地ごとにスケールの異なる新しいタイプの豪邸を製作し、全20タイプを公開します。	展示している住宅の模型と図面は、すべて1/50サイズで大きくて、写真のように模型には各部屋の説明が直接書き込まれていて、展示している図面パネルと併せてご覧いただければ、一般の方にも内容が分かるように配慮した展示になっています。展示の全プランと、模型と図面パネルは、5年の歳月を費やして製作しました。	写真右側が会場の寺西家住宅であり、大正時代に建築された1戸建住宅の典型です。その正面にある、写真左側は寺西家阿倍野長屋です。新・大阪長屋は、すべて大阪長屋を現代化した、令和時代の1戸建住宅の提案であり、この新旧の対比により、温故知新の大阪の新しい都市型住宅を、よりリアルに感じてもらえたらと考えています。

コロナ後の「大阪の新しい都市型住宅」のお手本は、大阪の都市住宅の原型であり、大阪の住まいの歴史の中で生まれ、独自の進化も遂げた「大阪長屋」です



- 1 大阪長屋が大阪の都市型住宅の原型
- 2 大阪の風土に合うように独自に進化した大阪長屋の「裏庭+表庭型」
- 3 大阪の住まいの歴史全体を令和時代に見直していく

新・大阪長屋の連棟型	連絡先	高橋 啓 / C一級建築士事務所	高橋 啓(建築家)プロフィール
		大阪市西区北堀江1-16-21 アルタス北堀江503 電話: 06-6578-8201 FAX: 06-6578-8202 携帯電話: 090-3272-3525 メールアドレス: mail@hiromu-takahashi.com	1971年 神戸市生まれ [神戸] 1996年 東京理科大学理工学部建築学卒業 [東京] 1996年 吉村篤一建築環境研究所 [京都] 2000年 C一級建築士事務所設立 [大阪] 現在、大阪市西区北堀江1丁目で事務所を始めて20年、住宅を100軒以上手掛けてきました。※大阪在住20年

大阪長屋を現代化した総合的な住宅提案は「大阪初」ですので、ぜひ取材してください! よろしくお願致します。11月11日までは、会場と同じ展示を事務所で行っておりますので、事務所取材して頂くことができます! ぜひお越しください。11月12日の搬入日は、13時~18時まで会場取材して頂けます。11月13日以降は、会場取材を受けさせていただきます。